

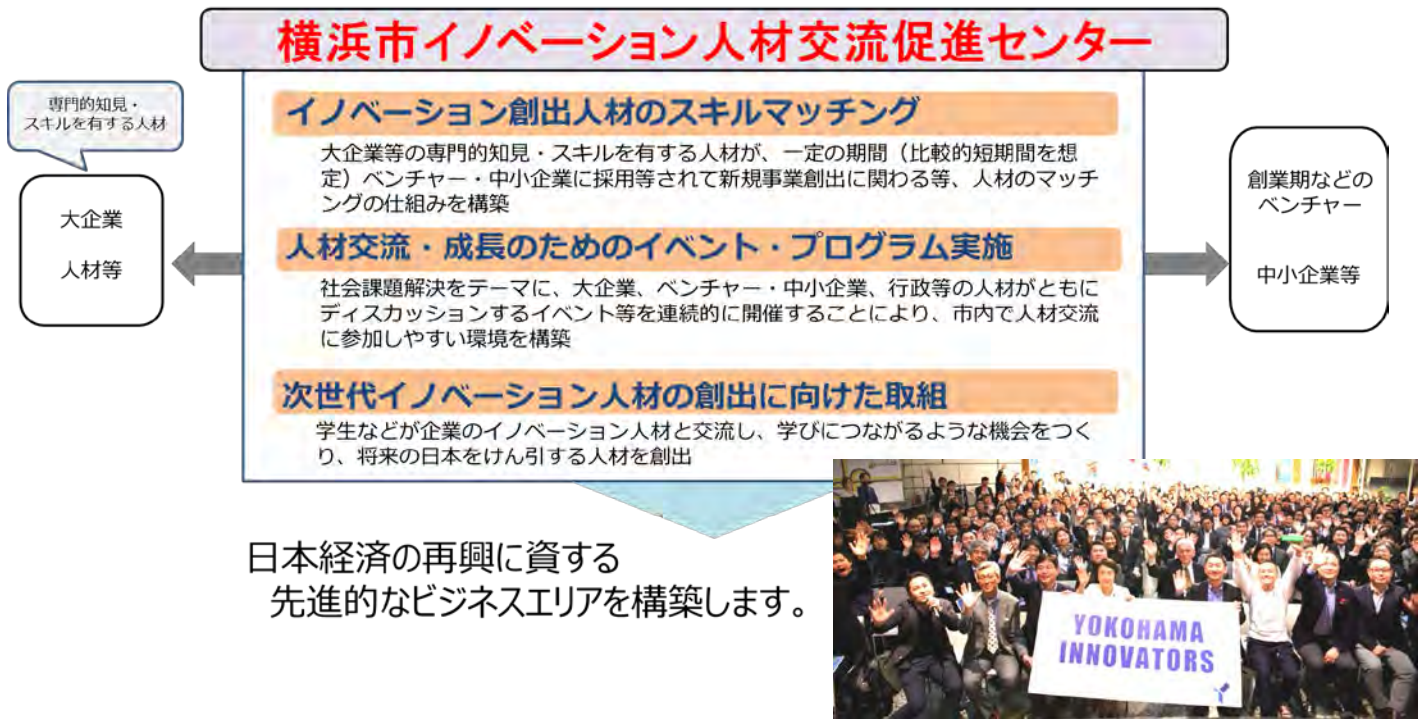
「イノベーション都市・横浜」の実現へ！

～「横浜市イノベーション人材交流促進センター」を国家戦略特区へ提案～

横浜市は、本日開催された東京圏国家戦略特別区域会議で「横浜市イノベーション人材交流促進センター」について提案を行い、区域計画案に盛り込まれました。

東京圏国家戦略特区は、国際的なビジネス拠点の形成とイノベーションの創出を目指しています。今後、特区の枠組みを活用し、多様な人材が交流・成長しイノベーションを生み出す、先進的なビジネスエリアを構築していきます。

1 事業イメージ ※詳細別紙



2 今後の予定

区域計画については、近日中に内閣府が国家戦略特区諮問会議に諮ったうえで、内閣総理大臣への認定申請を行う予定です。

<林 文子 横浜市長コメント>

近年の企業誘致の成果として、横浜市内ではエンジニアや起業家など「横浜市イノベーションの源泉」となる人材が増え、組織の枠を越えた交流が盛んになっています。この1月には、企業や大学等の連携を促進し、更なる人材交流やビジネス創出につなげることを目指し、「イノベーション都市・横浜」を宣言しました。

この取組を一層進めるため、東京圏国家戦略特別区域会議に「横浜市イノベーション人材交流促進センター」の設置を提案し、区域計画案に盛り込まれました。異分野の人材交流を活性化させることで、横浜を、社会課題の解決に貢献するビジネスを次々に生み出す都市へと発展させ、そのイノベーションの成果を内外に波及させていきます。

東京圏国家戦略特区と区域計画について

平成 26 年 5 月に国家戦略特区に指定された後、国と自治体等による「国家戦略特別区域会議」を開催し、区域計画を協議・作成し、事業を推進しています。

本日開催された会議は、第 24 回にあたり、横浜市が提案した「横浜市イノベーション人材交流促進センター」の設置が、区域計画案に盛り込まれました。

区域計画案は、会議の後に内閣府により国家戦略特区諮問会議に諮られ、内閣総理大臣への認定申請が行われる見込みです。

今回盛り込まれた横浜市提案について

○その他国家戦略特別区域における産業の国際競争力の強化及び国際的な経済活動の拠点の形成のために必要な事項

事項：創業者の人材確保を支援するための人材流動化支援施設の設置

内容：創業者が行う事業の実施に必要な人材の確保を支援するため、創業者又は創業者に使用されることを希望する国の行政機関の職員、地方公共団体の職員、民間企業の従業員その他の者に対する採用又は就職の援助を行う「横浜市イノベーション人材交流促進センター」を、国家戦略特別区域会議の下に設置する。

【平成 31 年度中に設置予定】

- i) 設置主体：国及び横浜市
- ii) 実施体制：民間事業者への委託により、当該事業者が配置する人材と横浜市が連携して実施する。
- iii) 設置場所：横浜市内
- iv) 事業内容：センターが実施する主な事業は、以下のとおり。
 - ・新たなビジネスを行う創業者等と、大企業等の専門的知見・スキルを有する人材のマッチング及び相談対応
 - ・制度や創業者、人材交流の場等についての情報提供等

根拠法

※国家戦略特別区域法第 8 条（抜粋）

国家戦略特別区域会議は、国家戦略特別区域基本方針及び区域方針に即して、内閣府令で定めるところにより、国家戦略特別区域における産業の国際競争力の強化及び国際的な経済活動の拠点の形成を図るための計画（以下「区域計画」という。）を作成し、内閣総理大臣の認定を申請するものとする。

2 区域計画には、次に掲げる事項を定めるものとする。

（中略）

六 前各号に掲げるもののほか、国家戦略特別区域における産業の国際競争力の強化及び国際的な経済活動の拠点の形成のために必要な事項

※区域会議の配布資料は、内閣府ホームページに掲載されます。

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/kokusentoc/tokyoken.html>

お問合せ先		
(横浜市イノベーション人材交流促進センターについて)		
経済局新産業創造課長	高木 秀昭	Tel 045-671-3913
(国家戦略特区の制度について)		
経済局ライフイノベーション推進課担当課長	中野 浩一郎	Tel 045-671-3591

「イノベーション都市・横浜」の実現へ！

～「横浜市イノベーション人材交流促進センター」を国家戦略特区へ提案～

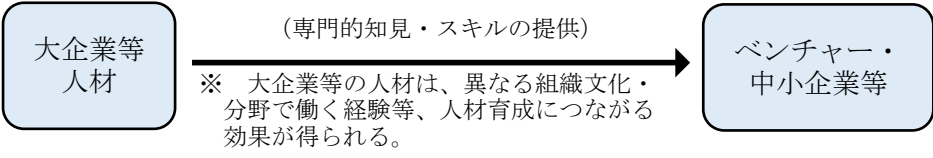


近年、みなとみらい21地区では多くの研究開発拠点が立地し、関内地区ではベンチャー企業の進出が増えており、市内においてエンジニアや起業家などのイノベーション人材どうしの交流を望む声が急速に高まっています。

こうした状況の中、本市は平成31年2月4日の東京圏国家戦略特別区域会議に、「横浜市イノベーション人材交流促進センター（※）」の設置を提案し、区域計画案に盛り込まれました。近年広がっている柔軟な働き方の視点をもって、「短時間のスキル提供」から「日常的な交流」まで多様な取組を、特区制度に位置付けて推進するのは全国初の試みです。

今後、国家戦略特区を活用して、人材が組織の垣根を超えて交流・成長し、多くのイノベーションが生み出される先進的なビジネスエリアを構築します。

※ 本市31年度予算案に計上している「ベンチャー企業成長拠点」に当センター機能を付加することを想定。

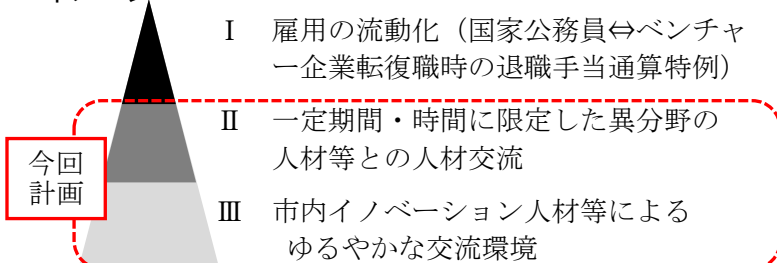
<横浜市イノベーション人材交流促進センターの主な機能>

1	【イノベーション創出人材のスキル・マッチング】 大企業等の専門的知見・スキルを有する人材が、一定の期間（比較的短期間を想定）ベンチャー・中小企業で新規事業創出に関わる等、人材のマッチングの仕組みを構築。  <p>大企業等 人材 → (専門的知見・スキルの提供) → ベンチャー・中小企業等</p> <p>※ 大企業等の人材は、異なる組織文化・分野で働く経験等、人材育成につながる効果が得られる。</p>	
2	【人材交流・成長のためのイベント・プログラム実施】 社会課題解決をテーマに、大企業、ベンチャー・中小企業、行政等の人材がともにディスカッションするイベント等を連続的に開催することにより、市内で人材交流に参加しやすい環境を構築。 (例) 交流イベントの開催、社会人向け教育プログラム実施	 <p>(イメージ) サラリーマンイノベーターの集い</p>
3	【次世代イノベーション人材の創出に向けた取組】 学生などが企業のイノベーション人材と交流し、学びにつながるような機会をつくり、将来の日本をけん引する人材を創出。 (例) ガジェットまつりなどの緩やかなイベント、企業・大学の連携（講座開催）へのコーディネート等	 <p>(イメージ) 横浜ガジェットまつり</p>

<今回活用する国家戦略特区のメニュー>（内閣府ホームページから引用）

規制改革事項	概要
官民人材	国、自治体、大企業に勤務する人材をスタートアップ企業で働きやすくするため、「人材流動化センター（仮称）」を設置し、労働市場の流動性向上、スタートアップ企業における優秀な人材の確保に資する援助を行う。

～イメージ～

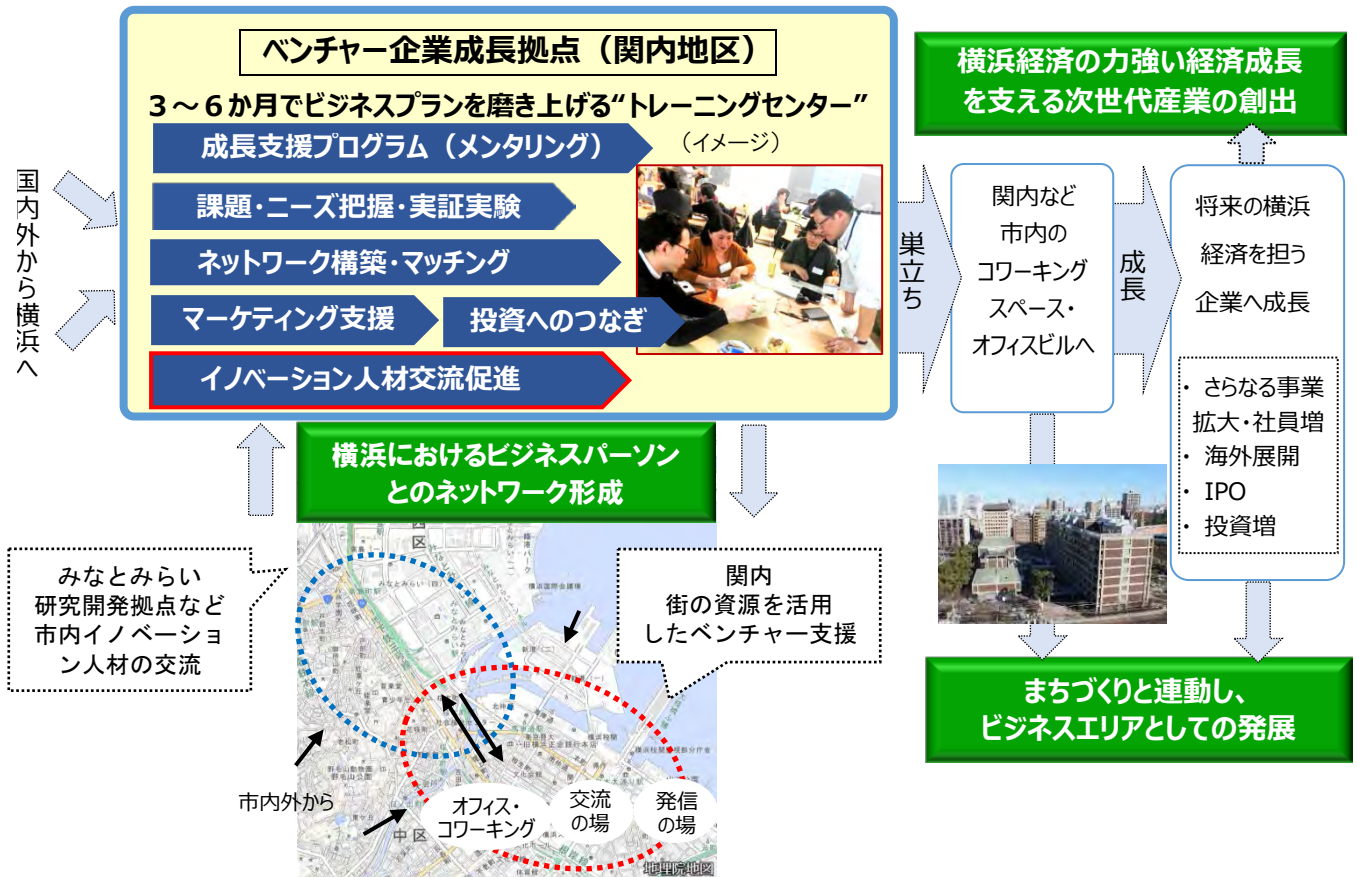


裏面あり

(次の事業については、31年度予算案として今後横浜市会の議決を経て実施されます。)

<参考1> ベンチャー企業成長拠点の開設について

イノベーションや経済成長の担い手となるベンチャー企業・起業家を国内外から集め、成長を支援する拠点を関内地区に開設します。「国内外のベンチャー企業支援者や市内企業・経営者」等によるサポートにより、横浜発の新ビジネス創出を促し、市内外からの企業や投資の呼び込み、雇用の創出、さらにはビジネスエリアの活性化につなげます。



「イノベーション都市・横浜」宣言

平成31年1月、横浜・関内地区において、起業家、企業のエンジニア、新規事業担当者などのイノベーション人材250人が集まり「横浜イノベーターまつり」が開催されました。

このイベントで林市長は、市内企業や大学等との連携により、街ぐるみで人材交流やビジネス創出などに挑戦する「イノベーション都市横浜」を宣言しました。

今後、特区制度を活用しながら、起業家同士の交流イベントの開催、イノベーション情報の発信などを進めていく予定です。



<参考2> 横浜中心部イノベーションエリアとしての将来像

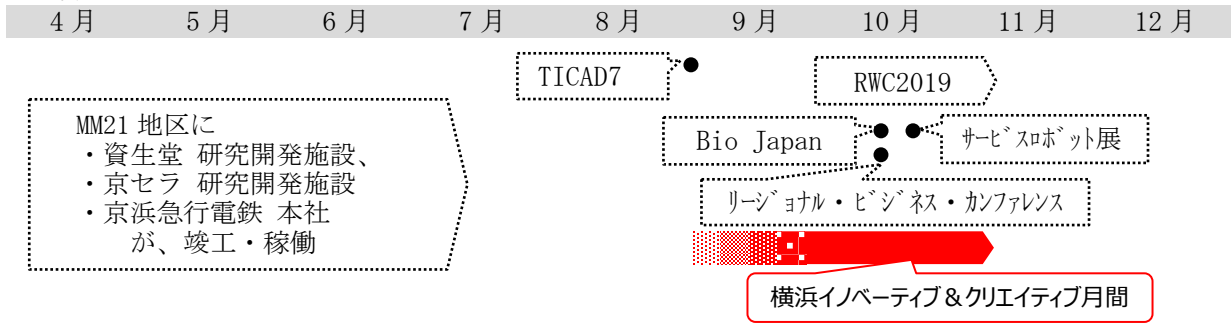


今後の立地計画【みなとみらい】(施設名、竣工・開業予定)			
資生堂グローバルイノベーションセンター	2019年4月	村田製作所みなとみらいイノベーションセンター	2020年9月
京急グループ本社ビル	2019年6月	鹿島建設・住友生命・三井住友海上 賃貸初代ビル (仮称)横濱ゲートタワープロジェクト	2021年3月
京セラ みなとみらいリサーチセンター (仮称)	2019年6月	LGグローバルR&Dセンター	2021年7月
コーエーテクモゲームス新本社	2020年1月	神奈川大学 みなとみらいキャンパス	2021年4月
LGグローバルR&Dセンター	2021年7月		
清水建設 賃貸オフィスビル 横浜グランゲート GRANGATE	2020年2月		

<参考3> 「イノベーション都市・横浜」の発信について

RWC2019 等、国内外から多くの来街者が横浜を訪れる好機をとらえ、みなとみらい 21 地区等の「研究開発拠点」や、パシフィコ横浜での「MICE主催者」などと連携し、来街者が横浜のイノベーションやテクノロジー、さらには伝統の技能等を楽しみながら体感できるイベントやプロモーション、テクニカルビジットを、RWC2019 開催期間を中心に連続的に実施します。

31年度 主なスケジュール



(イメージ) 市内のイノベーション関連の行事・施設の例

【街ぐるみのイベント】



(横浜ガジェットまつり)

【MICE】



(サービスロボット開発技術展)

【街中での実証実験】



(AI 運行バス)

【研究開発拠点とオープンフロア】



(資生堂 S/PARK)